

## 杉並区長が台湾観光貢献賞を受賞

19日、杉並区の田中良区長が「台湾観光貢献賞」を受賞しました。この賞は、日本の国土交通省に相当する台湾政府交通部観光局が、台湾観光に多大な貢献をした台湾内外の企業や団体などを対象としたもので、日本国内では12の企業・団体・個人が受賞しました。このうち地方自治体の首長は、千葉県森田健作知事と田中区長の二人だけです。杉並区は初の受賞となります。

杉並区と台湾は、平成23年に区内の中学生による異文化理解・国際交流を目的に、「中学生野球交流事業」が始まって以降、25年12月28日には、台湾政府教育部体育署、台北市教育局、財団法人救国団と「青少年交流推進宣言書」を取り交わすなど、様々な機会での交流を重ねています。

区内では、台湾の食文化や伝統音楽、映画などを紹介する「まるごと台湾フェア」などを開催してきたほか、27年4月には、区を代表するイベント「東京高円寺阿波おどり」の公演を台湾で行いました。また、この台湾公演にあわせて、国立台湾戯曲学院と「交流・芸術の相互交流推進宣言」を取り交わしています。

台湾観光貢献賞は、台湾交通部観光局が、毎年「観光節」に合わせて、台湾観光に貢献・尽力した企業や団体・個人を対象に授与されるものです。平成28年2月19日、「2016観光節慶祝大会」が台北市の圓山大飯店で開催され、この大会の中で、杉並区の井出隆安教育長が代理出席し授与を受けました。

22日、台湾から田中区長の手元に、「台湾観光貢献賞」が届けられました。田中区長は、クリスタルの盾を手に「この賞を励みに、これからはそれぞれの文化や伝統などを紹介して、市民レベルの交流がさらに発展するように努めたい」と話しました。



### 【報道機関】

文化・交流課 電話 03-3312-2111 内線 3781